

平成28年度第3回契約監視委員会 議事概要

1. 日 時： 平成29年3月17日（金） 9：30～12：00
2. 場 所： 国際農林水産業研究センター本館2階 特別会議室
3. 出席者： 柿内委員、岡野委員、坂本委員、北條委員
4. 議 題
 - (1) 平成28年度第1四半期～第3四半期に契約した「競争性のない随意契約」の点検
 - (2) 平成28年度第1四半期～第3四半期に実施した入札で「一者応札・一者応募となった契約」の点検
 - (3) 平成28年度第1四半期～第3四半期に契約した「2年連続して一者応札となった事案」
 - (4) 平成28年度国立研究開発法人国際農林水産業研究センター調達等合理化計画及び自己評価について
 - (5) 平成29年度国立研究開発法人国際農林水産業研究センター調達等合理化計画について
 - (6) その他
5. 議事概要：

事務局から、第3回の契約範囲と配布資料の説明を行った。
柿内委員を委員長とし、契約担当者から以下の議事を説明し審議を行った。

 - (1) 平成28年度第1四半期～第3四半期に契約した競争性のない随意契約14件について説明され、契約は妥当と判断された。
 - (2) 平成28年度第1四半期～第3四半期に実施した入札の結果、一者応札・一者応募となったもの13件について契約担当者から説明がなされた。13件とも JIRCAS ホームページに公告したが、最終的に一者応札となったことを審議し了承された。
 - (3) 2ヵ年連続して一者応札・一者応募となったもの1件について説明が行われ、審議し了承された。
 - (4) 契約担当者から「平成28年度国立研究開発法人国際農林水産業研究センター調達等合理化計画」の自己評価について説明が行われ、自己評価欄の記述が抽象的な言葉であり、「数値目標は達成した。」等のように具体的に記述するよう意見があり、修正することで了承された。
 - (5) 契約担当者から「平成29年度国立研究開発法人国際農林水産業研究センター調達等合理化計画（案）」を作成するに当たっては平成28年度を参考に新たな数値目標を明示して作成する旨の説明が行われ了承された。
 - (6) その他
 - ①委員より、「競争性のない随意契約」と「一者応札・一者応募」の双方とも予定価格と落札率を審査資料として提示するよう意見があり、次回の委員会から審査資料として提示することとなった。
 - ②また、二社以上の応札があった契約についても、落札率が100%に近い契約に関しては、審査資料に追加してほしい旨の意見があった。

- ③調達等合理化計画について、経費の削減状況や調達手続きの見直しによる事務作業の削減状況について、基準年度を設けて、基準年度に対する削減状況を示すとわかりやすいのではないか、との意見があった。
- ④随意契約については、事前に JIRCAS 内の契約審査委員会にて審査しているが、どのような検討が行われたのか契約監視委員会へ情報提供ができないか検討してほしい、との意見があった。
- ⑤事務局から、今回の意見を踏まえて次回契約監視委員会で提示すること。また、次回契約監視委員会は6月に開催することを提案し、了承された。

以 上